

令和7年度 桐生市立教育研究所課題研究員について

1 課題研究の趣旨

桐生市における教育課題の解決を図るための実践的教育研究を通して、教育公務員として必要な教養を高め、実践力・使命感をもった人材を育成する。

2 課題研究日及び課題研究員募集について

(1) 年間20日の研究日のうち、原則5日を自校・自園での研究日とし、研究所への来所を求めない。

(2) 課題研究員の選定手順は以下の通りとする。

① 3月園・校長会で課題研究員の募集要項を配付し、
各園・校長より職員へ周知する。

※研究所だよりでも周知する。

② 園・校長会長を中心に、園・校長会で調整を行う。

※市教委からの推薦者は、事前に園・校長会長に伝えておく。

※割り当て表と入れ替わったところは記録に残し、次年度への参考基準とする。

③ 新年度に研究員申込書を正式に提出する。

3 研究班の構成、研究員の選定、研究の方向性等について

○課題研究 「子どもが主体の学び」の実現と学力向上を目指して

	班の名称（仮称）	人数	研究員の選定手順	研究内容の方向性	指導者
小 中	学力向上班	小1名 中2名	①本人の希望	児童生徒の英語力向上を目指し、「英語教育実施状況調査」から明らかとなった桐生市及び所属校の課題解決に向け、言語活動の充実に視点を当てた外国語科・外国語活動の単元づくり及び授業づくりについて研究する。	学校教育課 教育環境課 指導主事
小 中	子どもが主体の学び 研究班	小2名 中1名	↓ 市教委の推薦	「子どもが主体の学び」を通して、知識・技能の習得、活用する力を十分に身に付けるために、単元構想と子どもが主体的に学ぶ場面の工夫、教師の役割等を重点とした授業づくりについて研究する。	学校教育課 教育環境課 指導主事
小 中	ICT機器活用研究班	小2名 中1名	↓ 割り当て表による	個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて、授業におけるICT機器の効果的な活用方法に視点をおき、教科や教材の特性に応じた授業づくりについて研究し、実践事例集を作成する。	学校教育課 教育環境課 指導主事
	研究員数合計	9名	(備考) ・研究内容により、適任者を指導者として追加依頼する。		